

菅野博史先生の経歴と業績

1952年8月20日、福島県福島市に生まれる。

[学歴]

- 1971.03 福島県立福島高等学校卒業
- 1971.04 東京大学文科二類入学
- 1976.03 東京大学文学部（印度哲学印度文学専修課程）卒業
- 1976.04 東京大学大学院人文科学研究科修士課程（印度哲学専門課程）入学
- 1979.03 同上 終了 文学修士
- 1979.04 東京大学大学院人文科学研究科博士課程（印度哲学専門課程）進学
- 1984.03 同上 単位取得退学
- 1994.03 博士（文学）の学位取得（東京大学）

[職歴]

- 1984.04 (財)東方研究会（文部省試験研究所）・専任研究員（～1984.6）
- 1984.07 日本学術振興会奨励研究員（～1985.3）
- 1985.04 (財)東方研究会（文部省試験研究所）・専任研究員（～1988.3）
- 1988.04 創価大学文学部人文学科・専任講師
- 1990.04 同上・助教授
- 1997.04 同上・教授（～2007.3）
- 2001.04 創価大学国際仏教学高等研究所所長（～2009.3）
- 2007.04 創価大学文学部人間学科・教授（～現在。改組による変更）

(非常勤)

- 1985.04 日本大学文理学部・非常勤講師(～1987.3)
- 1985.04 (財)東洋哲学研究所・研究員(～現在)
- 1985.04 (財)大倉精神文化研究所・研究員(～2001.3)
- 1985.07 中華人民共和国北京大学哲学系に訪問学者として所属(～1985.9)
- 1986.04 専修大学文学部・非常勤講師(～1991.3)
- 1986.04 創価大学比較文化研究所・客員研究員(～1988.3)
- 1988.04 (財)東方研究会(文部省試験研究所)・兼任研究員(～2005.3)
- 1988.10 東京大学東洋文化研究所・非常勤講師(～1989.3)
- 1989.10 同上(～1990.3)
- 1991.04 フェリス女学院大学文学部・非常勤講師(～1995.3)
- 1993.04 東京大学文学部・非常勤講師(～1993.9.24)
- 1995.04 中華人民共和国北京大学哲学系、中国社会科学院・世界宗教研究所に訪問学者として所属(～1996.3)
- 1996.04 フェリス女学院大学文学部・非常勤講師(～1998.3)
- 1997.04 東京大学教養学部・非常勤講師(～2008.9.30。この間、毎年度前期担当4.1～9.30)
- 1998.04 フェリス女学院大学国際交流学部・非常勤講師(～2003.3)
- 1999.04 大東文化大学文学部・非常勤講師(～2011.3.31)
- 1999.04 大東文化大学大学院文学研究科・非常勤講師(～2001.3)
- 2000.01 中国人民大学・仏教与宗教学理論研究所・客員教授(～現在)
- 2001.10 東京大学文学部・非常勤講師(～2002.3.31)
- 2005.04 (財)東方研究会(文部省試験研究所)・連携研究員(～2012.6)
- 2007.04 大東文化大学大学院文学研究科・非常勤講師(～2011.3.31)
- 2007.10 東京大学文学部・非常勤講師(～2008.3.31)
- 2010.10 東京大学文学部・非常勤講師(～2011.3.31)
- 2011.09 中国人民大学講座教授(～2014.8.31)
- 2011.09 中央民族大学訪問教授(～2012.1.30)

- 2011.09 中国社会科学院世界宗教研究所訪問学者（～2012.1.30）
- 2012.07 公益財団法人中村元東方研究所連携研究員（～現在）
- 2013.04 東京大学文学部・非常勤講師（～2014.3.31）
- 2015.09 中央民族大学東亜細亜佛教研究中心顧問（～現在）

[所属学会]

- 1976.04 日本印度学仏教学会会員（～現在）
- 1976.04 日本宗教学会会員（～現在）
- 1979.04 日本仏教学会会員（～現在）
- 1985.04 仏教思想学会会員（～現在）
- 1988.11 比較思想学会会員（～現在）
- 1990.04 東方学会会員（～現在）
- 1990.04 日本思想史学会会員（～現在）
- 2001.07 日本印度学仏教学会評議員・理事（～現在）
- 2001.07 東アジア仏教研究会会長（～2013.3）
- 2004.11 日本宗教学会評議員（～現在）
- 2013.04 東アジア仏教研究会監事（～現在）
- 2017.04 仏教思想学会理事（～現在）
- 2019.09 日本宗教学会理事（～2022.8）

[各種委員]

- 2004.04.01 - 2006.03.31 日本学術振興会、平成16年度・17年度、科学研究補助金審査委員（第一段審査）
- 2005.08.01 - 2007.07.31 特別研究員審査会専門委員および国際事業委員会委員書面審査委員
- 2008.01.01 - 2008.12.31 科学研究費委員会専門委員（審査第一部会 哲学小委員会）
- 2007.09.03 - 現在 日本印度学仏教学会・学術情報委員会運営委員

2010.07.01 - 2013.03.31	日本印度学仏教学会学会賞選考委員
2015.06.26 - 2017.06	東方学会第3期学術委員
2017.06.29 - 2019.06	東方学会第4期学術委員
2019.06.21 - 2021.06	東方学会第5期学術委員
2021.06.28 - 2023.06	東方学会第6期学術委員
2015.06.26 - 2017.06	東方学会第3期「東方學」査読委員
2017.06.29 - 2019.06	東方学会第4期「東方學」査読委員
2019.06.21 - 2021.06	東方学会第5期「東方學」査読委員
2021.06.28 - 2023.06	東方学会第6期「東方學」査読委員

[研究費]

- (1) 1998年度-2000年度 科学研究費 基盤研究(C) 課題番号10610020
「天台大師智顛と嘉祥大師吉蔵の法華経観の比較」総額220万円
- (2) 2001年度-2002年度 創価大学文系学部等教員研究助成金 「智顛と湛然の法華経観の比較研究」総額73万円(51万+22万)
- (3) 2004年度-2005年度 創価大学文系学部等教員研究助成金 「南岳慧思の思想研究」総額40万円(24+16万)
- (4) 2007年度-2009年度 科学研究費 基盤研究(C) 課題番号19520055
「慧均『大乘四論玄義記』に基づく中国南朝仏教学の再構築」総額390万円(143+117+130万)
- (5) 2009年度 科学研究費 特別研究員奨励費(研究代表者:菅野博史, 分担研究者:張文良) 課題番号21-09003 「中国における天台と華嚴の関係の総合的研究」総額80万円
- (6) 2011-2013年度 科学研究費 基盤研究(C) 課題番号23520069 「『大乘四論玄義記』と『大乘玄論』との比較に基づく中国南朝仏教学の研究」総額481万円(195+143+143万)
- (7) 第42回(平成25年度)三菱財団人文科学研究助成 「中国南北朝・隋代における「大乘」概念の形成」 総額170万円

- (8) 2019-2022年度 科学研究費 基盤研究(C) 課題番号19K00065「中国南朝仏教における空と有の対決と超克—『大般涅槃經集解』を中心として—」総額377万円(117 + 104 + 78+78万)

[受賞] 第三十二回日本印度学仏教学会・学会賞を受賞(1990.6.23)

研究業績

[I] 著作(翻訳を含む)

(1) 単著・単訳

- 01) 『一念三千とは何か—『摩訶止観』(正修正観章)現代語訳—』(1992.7, 第三文明社。第三文明選書8, 2017.7)
- 02) 『法華とは何か—『法華遊意』を読む—』(1992.9, 春秋社)
- 03) 『法華經の七つの譬喩—初めて学ぶ『法華經』—』(1993.3, 第三文明社)
- 04) 『法華經—永遠の菩薩道—』(1993.4, 大蔵出版)
- 05) 『新国訳大蔵經・阿含部2・長阿含經Ⅱ』(1994.1, 大蔵出版)
- 06) 『中国法華思想の研究』(1994.3, 春秋社)
- 07) 『法華玄義』(上)(1995.1, 第三文明社。第三文明選書1, 2016.5)
- 08) 『法華玄義』(中)(1995.2, 第三文明社。第三文明選書2, 2016.5)
- 09) 『法華玄義』(下)(1995.3, 第三文明社。第三文明選書3, 2016.5)
- 10) 『法華義記』(法華經注釈書集成2, 1996.9, 大蔵出版)
- 11) 『法華經の出現—蘇る仏教の根本思想—』(1997.2, 大蔵出版)
- 12) 『法華玄義入門』(1997.7, 第三文明社)
- 13) 『法華統略』上(法華經注釈書集成6, 1998.3, 大蔵出版)
- 14) 『法華統略』下(法華經注釈書集成7, 2000.3, 大蔵出版)
- 15) 『法華經入門』(2001.9, 岩波書店)
- 16) 『法華經思想史から学ぶ仏教』(2003.2, 大蔵出版)
- 17) 『法華經—永遠的菩薩道』(中国語版, 台湾, 2005.1, 地球書房)

(10) 創価大学人文論集 第35号

- 18) 『法華文句』(Ⅰ)(2007.6, 第三文明社。第三文明選書4, 2016.12)
- 19) 『法華文句』(Ⅱ)(2008.9, 第三文明社。第三文明選書5, 2017.6)
- 20) 『現代に生きる法華経』(2009.8, 第三文明社)
- 21) 『法華文句』(Ⅲ)(2010.12, 第三文明社。第三文明選書6, 2017.6)
- 22) 『法華文句』(Ⅳ)(2011.9, 第三文明社。第三文明選書7, 2017.6)
- 23) 『新国訳大蔵経・中国篇・法華玄義Ⅰ』(2011.9, 大蔵出版)
- 24) 『南北朝・隋代の中国仏教思想研究』(2012.2, 大蔵出版)
- 25) 『法華経——永遠の菩薩道 増補新装版』(2012.7, 大蔵出版)
- 26) 『新国訳大蔵経・中国篇・法華玄義Ⅱ』(2013.2, 大蔵出版)
- 27) 『法華玄義を読む——天台思想入門』(2013.4, 大蔵出版)
- 28) 『中国法華思想的研究』(2017.6, 中国, 国際文化出版公司)
- 29) 『新国訳大蔵経・中国篇・法華玄義Ⅲ・観音玄義・法華経安楽行義』(2018.9, 大蔵出版)
- 30) 『現代語訳 法華玄義(上)』(2018.11, 公益財団法人東洋哲学研究所)
- 31) 『現代語訳 法華玄義(下)』(2019.9, 公益財団法人東洋哲学研究所)
- 32) 『中国仏教の経典解釈と思想研究』(2022.8, 法蔵館)
- 33) 『摩訶止観』(Ⅰ)(2022.8, 第三文明社)

(2) 共著・共訳

- 01) 『新仏教語源散策』(共著, 1986.2, 東京書籍)
- 02) 『仏教入門』(共著, 1987.7, 池田書店)
- 03) 『摩訶止観引用典拠総覧』(共編, 1987.12, 中山書房)
- 04) 『南岳思大禪師立誓願文索引』(共編, 988.3, 東京大学東洋文化研究所)
- 05) 『仏教漢文読本』(共著, 1990.6, 春秋社)
- 06) 『新国訳大蔵経・阿含部1・長阿含経Ⅰ』(共訳, 1993.8, 大蔵出版)
- 07) 『現代語訳阿含経—長阿含経—』第一卷(共訳, 1995.1, 平河出版社)
- 08) 『現代語訳阿含経—長阿含経—』第二卷(共訳, 1997.7, 平河出版社)
- 09) 『現代語訳阿含経—長阿含経—』第三卷(共訳, 2000.3, 平河出版社)

- 10) 『真理の偈と物語—『法句譬喻經』現代語訳—』上（共訳, 2001.4, 大蔵出版）
- 11) 『現代語訳阿含經—長阿含經—』第四卷（共訳, 2001.4, 平河出版社）
- 12) 『真理の偈と物語—『法句譬喻經』現代語訳—』下（共訳, 2001.12, 大蔵出版）
- 13) 『現代語訳阿含經—長阿含經—』第五卷（共訳, 2002.8, 平河出版社）
- 14) 『現代語訳阿含經—長阿含經—』第六卷（共訳, 2005.12, 平河出版社）
- 15) Daniel B. Stevenson and Hiroshi Kanno, *The Meaning of the Lotus Sūtra's Course of Ease and Bliss: An Annotated Translation and Study of Nanyue Huisi's (515-577) Fahua jing anlexing yi*, 2006, Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica, vol. IX, The International Research Institute for Advanced Buddhology
- 16) 『大乘仏教の挑戦—人類的課題に向けて—』（共著, 2006.9, 東洋哲学研究所）
- 17) 『平和を目指す仏教——大乘仏教の挑戦Ⅱ』（共著, 2007.9, 東洋哲学研究所）
- 18) 『大乘仏教的挑戦—面向人類的課題—』（共著, [簡体字版] 28-43頁, 2008, 南開大学出版社／[繁体字版] 41-60頁, 2008, 香港公開大学出版社・時報出版社聯合出版）
- 19) 『大乘仏教的挑戦（二）—尋求和平的佛教—』（共著, [繁体字版] 58-74頁, 2010, 香港公開大学出版社・時報出版社聯合出版）
- 20) 『現代語訳 法華玄義釈籤（上）』（松森秀幸との共訳, 2020.11, 公益財団法人東洋哲学研究所）
- 21) 『現代語訳 法華玄義釈籤（中）』（松森秀幸との共訳, 2021.11, 公益財団法人東洋哲学研究所）
- 22) 『現代語訳 法華玄義釈籤（下）』（松森秀幸との共訳, 2022.11, 公益財団法人東洋哲学研究所）

[II] 論文

- 001) 吉蔵撰『法華統略』と『法華論疏』との撰述順序について(『印度学仏教学研究』28-1, 1979.12, pp.172-173)
- 002) 吉蔵における「四調柔」について(『印度学仏教学研究』29-1, 1980.12, pp.138-139)
- 003) 吉蔵の三種法輪説について(『日本仏教文化研究論集』2, 1981.5, pp.151-167)
- 004) 吉蔵における法華經の宗旨觀について(『仏教学』12, 1981.10, pp.113-135)
- 005) 吉蔵の經典觀(『印度学仏教学研究』30-1, 1981.12, pp.347-350)
- 006) 吉蔵における<妙>の概念について—智顛との關係を含めて—(『東洋學術研究』21-1, 1982.5, pp.158-177)
- 007) 吉蔵における二種菩薩論—直往菩薩と廻小入大菩薩—(『印度学仏教学研究』31-1, 1982.12, pp.263-266)
- 008) 竺道生における機と感応について(『印度学仏教学研究』32-1, 1983.12, pp.261-264)
- 009) 中国法華思想をめぐって—仏性と仏身常住の問題—(『東洋學術研究』別冊5, 1984.10, pp.168-191)
- 010) 浄影寺慧遠『維摩經義記』の研究—注釈の一特徴と分科—(『東洋學術研究』23-2, 1984.11, pp.231-246)
- 011) 維摩經分科に関する智顛と吉蔵の比較(『印度学仏教学研究』33-1, 1984.12, pp.165-168)
- 012) 『大般涅槃經集解』における道生注(『日本仏教文化研究論集』5, 1985.3, pp.74-85)
- 013) 吉蔵における『法華經』信解品の譬喩解釈について—『法華玄論』を中心として—(『東方』1, 1985.4, pp.192-200)
- 014) 『大般涅槃經集解』の基礎的研究(『東洋文化』66, 1986.2, pp.93-173)
- 015) 吉蔵における法華經と諸大乘經典の比較(『大倉山論集』19, 1986.3,

pp. 205-270)

- 016) 吉蔵における法華経と仏性（『東方』2, 1986.11, pp. 83-91)
- 017) 吉蔵における法華経の経題「法」の解釈と仏身常住説（『大倉山論集』20, 1986.12, pp. 93-124)
- 018) 『大般涅槃経集解』における僧亮の教判思想（『印度学仏教学研究』35-1, 1986.12, pp. 78-81)
- 019) 劉虬撰『注法華経』の逸文について（『高崎直道博士還暦記念論集・インド学仏教学論集』所収, 1987.10, 春秋社, pp. 575-589)
- 020) 『大般涅槃経集解』における僧亮の感応思想（『東方』3, 1987.12, pp. 166-174)
- 021) 中国における『維摩経』入不二法門品の諸解釈—仏教における真理と言語—（『大倉山論集』22, 1987.12, pp. 81-104)
- 022) 『大般涅槃経集解』における僧宗の教判思想（『印度学仏教学研究』37-1, 1988.12, pp. 87-91)
- 023) 三経義疏の真偽問題について（大倉精神文化研究所編『総合研究・飛鳥文化』所収, 1989.2, 国書刊行会, pp. 465-502)
- 024) 吉蔵撰『法華統略』における経題釈について（『大倉山論集』25, 1989.3, pp. 123-151)
- 025) 『法華義記』における信解品の譬喩解釈について（『創価大学人文論集』1, 1989.3, pp. 185-215)
- 026) 道生における法華経の構成把握について（『東洋文化』70, 1990.1, pp. 43-79)
- 027) 竺道生『妙法蓮花経疏』における信解品の譬喩解釈について（『創価大学人文論集』2, 1990.3, pp. 31-57)
- 028) 吉蔵撰『法華義疏』における信解品の譬喩解釈について（上）（『大倉山論集』27, 1990.3, pp. 197-223)
- 029) 『維摩経玄疏』の組織と梗概（『多田厚隆先生頌寿記念・天台教学の研究』所収, 1990.3, 山喜房仏書林, pp. 131-158)

(14) 創価大学人文論集 第35号

- 030) 吉蔵撰『法華統略』釈序品の研究(1) —無生観と法華経解釈— (平井俊榮監修『三論教学の研究』所収, 1990.10, 春秋社, pp. 81-101)
- 031) 道生撰『妙法蓮花経疏』における注釈の方法について (『印度学仏教学研究』39-1, 1990.12, pp. 74-79)
- 032) 道生撰『妙法蓮花経疏』における「理」の概念について (『創価大学人文論集』3, 1991.3, pp. 119-143)
- 033) 吉蔵撰『法華義疏』における信解品の譬喩解釈について(下) (『大倉山論集』29, 1991.3, pp. 101-136)
- 034) 『法華経』方便品の「諸法実相」の原義について (『東洋学術研究』30-2, 1991.3, pp. 134-143)
- 035) 吉蔵撰『法華統略』釈序品の研究(2) —四处七会を中心として— (『前田専学博士還暦記念論集・私の思想』所収, 1991.10, 春秋社, pp. 697-710)
- 036) 吉蔵撰『法華統略』における信解品の譬喩解釈について (『塩入良道先生追悼論文集・天台思想と東アジア文化』所収, 1991.11, 山喜房仏書林, pp. 521-540)
- 037) 『法華遊意』における吉蔵の『法華経』観 (『東洋哲学研究所紀要』7, 1991.12, pp. 113-145)
- 038) 光宅寺法雲『法華義記』と敦煌写本『法華義記』との比較研究 (『印度学仏教学研究』40-1, 1991.12, pp. 46-51)
- 039) 法雲『法華義記』における一乗思想の解釈について—権実二智論と因果論— (『創価大学人文論集』4, 1992.3, pp. 3-20)
- 040) 法雲『法華義記』冒頭の総合的解釈の考察(上) (『大倉山論集』31, 1992.3, pp. 63-83)
- 041) 『法華義記』における講義者法雲と執筆者 (『印度学仏教学研究』41-1, 1992.12, pp. 71-76)
- 042) 『法華文句』における信解品の譬喩解釈について (『創価大学人文論集』5, 1993.3, pp. 119-160)

- 043) 法雲『法華義記』冒頭の総合的解釈の考察(下) (『大倉山論集』33, 1993.3, pp. 53-105)
- 044) An Overview of Research on Chinese Commentaries of the *Lotus Sūtra*, *ACTA ASIATICA* 66, 1994.1, pp. 87-103.
- 045) 中国における法華経疏の研究史について (『創価大学人文論集』6, 1994.3, pp. 60-86)
- 046) 『法華経』の中心思想と中国・日本における思想的展開 (『日本の仏教』2, 1995.3, 法蔵館, pp. 145-161)
- 047) 東アジア仏教の經典観—中国を中心として— (『東アジア仏教とは何か—シリーズ・東アジア仏教第一巻』所収, 1995.4, 春秋社, pp. 97-130)
- 048) 平田篤胤の『印度藏志』と仏教研究の意義 (『大倉山論集』37, 1995.3, pp. 41-75, 『近世の精神生活』に再録, 1996.3, pp. 697-734, 続群書類従完成会)
- 049) 『法華経』の構成とその思想的特色 (『東洋学術研究』34-2, 1995.11, pp. 61-82)
- 050) 法雲『法華義記』における『法華経』の構成把握について (『勝呂信静博士古稀記念論文集』所収, 1996.2, 山喜房仏書林, pp. 495-507)
- 051) 『法華経』的中心思想—以一仏乗思想為中心— (『世界宗教研究』総第65期, 1996年第3期, 1996.9, pp. 68-73)
- 052) 天台三大部補注 (『法華玄義』の部) 研究序説 (『天台大師研究』所収, 1997.3, 祖師讃仰大法会事務局・天台学会, pp. 683-730)
- 053) 新出資料『法華統略』積葉草喩品・釈授記品・釈化城喩品 (『印度学仏教学研究』46-1, 1997.12, pp. 197-202)
- 054) 新出資料『法華統略』積葉草喩品・釈授記品・釈化城喩品の翻刻 (『大倉山論集』44, 1998.3, pp. 105-150)
- 055) 智顛『四教義』研究ノート(1) (『創価大学人文論集』11, 1999.3, pp. 155-170)

(16) 創価大学人文論集 第35号

- 056) 新出資料『法華統略』 積葉草喩品・釈授記品・釈化城喩品の翻印(『仏学研究』第七期, 1999.3, pp. 162-180)
- 057) 日本における『法華経』の思想と文化(『東洋学術研究』38-2, 1999.11, pp. 37-51)
- 058) 在日本的《法華経》思想和文化(『佛教文化』創刊号, 厦門大学宗教研究所, 1999.12, pp. 40-46)
- 059) 日本における中国法華経疏の研究について(『中外日報』1999.12.7掲載)
- 060) A Comparison of Zhiyi's and Jizang's Views of the Lotus Sutra: Did Zhiyi, after all, Advocate a "Lotus Absolutism"? (『創価大学国際仏教学高等研究所年報』3, 2000.3, pp. 125-147)
- 061) 中国仏教の歴史的的特色と現状(『東洋学術研究』39-1, 2000.5, pp. 95-117)
- 062) 日本对中国法華経疏的研究(『世界宗教研究』総第80期, 2000年第2期, 2000.6, pp. 137-141 / 『国際儒学研究』第9輯, 国際文化出版公司, 2000.6)
- 063) The Reception of the *Lotus Sūtra* in Japan, *The Journal of Oriental Studies* 10, 2000.8, pp. 31-46.
- 064) 智顛と吉蔵の法華経観の比較—智顛は果たして法華経至上主義者か?—(『平井俊榮博士古稀記念論文集・三論教学と仏教諸思想』所収, 2000.11, 春秋社, pp. 155-170)
- 065) 吉蔵撰『法華統略』写本(真福寺宝生院所蔵)について(『江島恵教博士追悼論文集・空と実在』所収, 2000.11, 春秋社, pp. 563-573)
- 066) 中国における『法華経』の思想の受容(『東洋学術研究』39-2, 2000.11, pp. 45-58)
- 067) 『法華経』における常不軽菩薩の实践と中国・日本における展開(『東洋学術研究』40-2, 2001.12, pp. 70-87)
- 068) The Reception of *Lotus Sūtra* Thought in China, *The Journal of Oriental Studies* 11, 2002.1, pp. 106-122.

- 069) 智顛與吉藏の法華經觀之比較（北京大学東方学研究院『華林』2, 2002.1, pp. 161-169 / 『中国人民大学報刊複印資料・宗教』2002年第4期）
- 070) 《法華經》中常不輕菩薩の實踐及其在中国和日本の接受情況（『世界宗教研究』増刊, 総第87期, 2002.3, pp. 15-22）
- 071) 慧均『大乘四論玄義記』の三種積義と吉藏の四種積義（『木村清孝博士還暦記念論集・東アジアの仏教』所収, 2002.11, 春秋社, pp. 87-100）
- 072) The Practice of Bodhisattva Never Disparaging in the *Lotus Sūtra* and its Reception in China and Japan, *The Journal of Oriental Studies* 12, 2002.12, pp. 104-122.
- 073) The Three Dharma-wheels of Jizang 吉藏, *BUDDHISM AND INDIAN STUDIES In HONOUR of Professor Sodo MORI*, Hamamatsu, Japan, 2002.12: Kokusai Bukkyo Kyokai, pp. 399-412.
- 074) Chinese Buddhist Sutra Commentaries of the Early Period（『創価大学国際仏教学高等研究所年報』6, 2003.3, pp. 301-320）
- 075) 『法華經』の現代的意義（『東洋学術研究』42-1, 2003.7, pp. 55-71）
- 076) 『法華統略』新出資料（積葉草喩品・積授記品・積化城喩品）の注釈の特色（『印度学仏教学研究』52-1, 2003.12, pp. 8-15）
- 077) 『法華經安樂行義』の冒頭・偈頌に見られる慧思の法華經觀（『韓国仏教学結集大会』2-1, 2004.5, pp. 596-606）
- 078) The Modern Significance of the *Lotus Sūtra*, *The Journal of Oriental Studies* 14, 2004.10, pp. 95-111.
- 079) Huisi's Perspective on the *Lotus Sūtra* as Seen Through the *Meaning of the Course of Ease and Bliss* in the *Lotus Sūtra*, *The Journal of Oriental Studies* 14, 2004.10, pp. 146-166.
- 080) 『法華經』の包括主義と宗教的寛容（『東洋学術研究』43-2, 2004.12, pp. 110-126）
- 081) 『法華經安樂行義』の研究（1）（『東洋学術研究』43-2, 2004.12, pp. 176-195）

- 082) 『法華經安樂行義』の研究(2) (『東洋哲学研究所紀要』20, 2004.12, pp. 53-81)
- 083) 『法華經』の現代意義(李四龍・周学農主編『哲学、宗教と人文』所収, 商務印書館, 2004.12, pp. 639-649 / 『大乘仏教の挑戦—面向人類的課題—』[簡体字版]28-43頁, 2008, 南開大学出版社 / [繁体字版]41-60頁, 2008, 香港公開大学出版社・時報出版社聯合出版)
- 084) 中国佛教早期經典注釈書の性格 (『世界宗教研究』増刊, 総第100期, 2004.12, pp. 15-20)
- 085) 『法華經』の包容主義と宗教寛容 (『世界宗教研究』増刊, 総第100期, 2004.12, pp. 62-70 / 『大乘仏教の挑戦(二)—尋求和平的佛教—』(共著, [繁体字版]58-74頁, 2010, 香港公開大学出版社・時報出版社聯合出版))
- 086) 『大乘止観法門』における「本覚」・「不覚」の概念 (『創価大学人文論集』17, 2005.3, pp. 68-88)
- 087) 初期中国仏教の経疏について (『村中祐生先生古稀記念論文集・大乘仏教思想の研究』所収, pp. 19-36, 山喜房仏書林, 2005.6)
- 088) 『法華文句』における四種釈について (『印度学仏教学研究』54-1, 2005.12, pp. 79-87)
- 089) Inclusivism and Religious Tolerance in the *Lotus Sūtra*, *The Journal of Oriental Studies* 15, 2005.12, pp. 94-108.
- 090) 『法華經』と宗教間対話 (『首届世界佛教论坛文集・论文中文卷 和谐世界从心开始』所収, 宗教文化出版社, 2006.4, pp. 406-417 / 『仏学研究』総15期, 2006.12, pp. 65-72)
- 091) 『法華經』と宗教間対話 (『東洋学術研究』45-1, 2006.6, pp. 154-171)
- 092) “Relative Subtlety” and “Absolute Subtlety” in Zhiyi and Jizang: Concerning their Interpretation of the Word “Subtlety (*miao* 妙) in the Title of the *Lotus Sūtra* (望月海淑編『法華經と大乘經典の研究』所収, pp. 37-55, 山喜房仏書林, 2006.6)

- 093) The *Lotus Sūtra* and the Dialogue of Religions, *The Journal of Oriental Studies* 16, 2006.10, pp. 139-155.
- 094) 『法華経文外義』研究序説（『印度学仏教学研究』55-1, 2006.12, pp. 499-492）
- 095) 中国初期仏教の機と感応思想——道生と僧亮を中心として（『創価大学人文論集』19, 2007.3, pp. 33-51）
- 096) A General Survey of Research Concerning Chinese Commentaries on the *Lotus Sūtra*（『創価大学国際仏教学高等研究所年報』10, 2007.3, pp. 417-444）
- 097) 『法華経』における菩薩道と現実世界の重視（『東洋学術研究』46-1, 2007.5, pp. 86-103）
- 098) 《法華経》的菩薩道及其重視現實世界的思想（『儒釋道之哲学対話』所収, pp. 221-237, 商務印書館, 2007.7）
- 099) The Bodhisattva Way and Valuing the Real World in the *Lotus Sūtra*, *The Journal of Oriental Studies* 17, 2007.10, pp. 180-197.
- 100) On the Concept of “Salvific Impetus” and “Stimulus and Response” in the Early Period of Chinese Buddhism, Focusing on the Cases of Daosheng and Sengliang,（『多田孝正博士古稀記念論集 仏教と文化』51-74頁[右], 山喜房仏書林, 2008年11月）
- 101) 『大乘四論玄義記』の基礎的研究（『印度学仏教学研究』57-1, 2008.12, pp. 61-69L）
- 102) 中国佛教对《法華経・見宝塔品》的諸解釈——以宝塔出現与二佛并坐的意義为中心（『佛學研究』総17期, 2008年12月, pp. 223-228 / 『中国仏教の仏舎利崇拜和朝陽遼代北塔』所収, pp. 198-205, 宗教文化出版社, 2009.6）
- 103) 中国における『法華経』見宝塔品の諸解釈—宝塔出現と二仏並坐の意義を中心として—（『創価大学人文論集』21, 2009.3, pp. 11-27）
- 104) 中国对《法華経》思想的接受（『仏教与中国伝統文化——楊曾文先生七

- 秩賀寿文集』pp. 468-477, 中国社会科学出版社, 2009年3月)
- 105) 釈尊の中心思想と『法華経』の特色 (『東洋学術研究』48-1, 2009.5, pp. 60-75)
- 106) 『大乘四論玄義記』の研究序説——自己の基本的立場の表明 (『불교학리뷰』5, 2009.6, pp. 65-90, Geungang University)
- 107) 『大乘止観法門』中の“本覚”和“不觉”概念 (中国人民大学仏教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2008 [宗教文化出版社, 2009.7] pp. 37-49 / 方立天・末木文美士主編, 張風雷・菅野博史副主編『東亜仏教研究 I—一仏教本覚思想研究—』所収, 2014.3, pp. 120-143)
- 108) The Core of Śākyamuni Buddha's Teachings and the Distinctive Features of the *Lotus Sūtra*, *The Journal of Oriental Studies* 19, 2009.8, pp. 36-50.
- 109) 《法華経文外義》研究序説 (李四龍主編『佛学与国学——楼宇烈教授七秩晋五頌寿文集』所収, 九州出版社, 2009.12, pp. 76-86)
- 110) 『大乘四論玄義記』における前代教学の批判——「三乘義」を中心として (『印度学仏教学研究』58-1, 2009.12, pp. 501-493L)
- 111) 《法華文句》の四種詮釈方法——与吉藏の詮釈方法的比較 (『佛學研究』総18期, 北京, 2009.12, pp. 186-192 / 麻天祥主編『中日韓天台学術対話』所収, 人民出版社, 2011.4, pp. 49-58)
- 112) 中国における法華経疏の研究史について (2) (『創価大学人文論集』22, 2010.3, pp. 15-26)
- 113) 『法華経』における地涌菩薩について——現実世界への関与 (『東洋学術研究』49-1, 2010.5, pp. 151-170)
- 114) The Bodhisattvas of the Earth in the *Lotus Sūtra*: Involvement in the Human Society, *The Journal of Oriental Studies* 20, 2010.9, pp. 108-128.
- 115) 中国法華経疏の研究と今後の研究課題 (『駒澤大学仏教学部論集』41, 2010.10, pp. 19-39)

- 116) 東晋・南北朝の仏教の思想と実践——仏教受容初期の具体像（『新アジア仏教史06 中国Ⅰ 南北朝仏教の東伝と受容』第三章, pp. 117-162, 俊成出版社, 2010.12)
- 117) 慧思における忍辱思想—『法華経安楽行義』を中心として—（『創価大学人文論集』23, 2011.3, pp. 27-51）
- 118) 《法華経》的兼容主義与宗教間対話（張志剛・嚴群主編『信仰与責任——全球化時代的精神反思』所収, 宗教文化出版社, 2011.9, pp. 404-418）
- 119) 《法華経》中的地涌菩薩（『世界宗教研究』2011年第5期, 総第131期, 2011.10, pp. 86-93）
- 120) 『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第一大意」の分析（『創価大学人文論集』24, 2012.3, pp. 47-71）
- 121) 『法華経』におけるサツダルマの概念と一仏乗の思想（『東洋学術研究』51-1, 2012.5, pp. 282-293）
- 122) 吉蔵論仏教論争与批判的方法——以関于《法華経》宗旨觀的論争為中心（『宗教研究』2010, 2012.3, pp. 22-33 / 方立天・末木文美士主編、張風雷・菅野博史副主編『東亜仏教研究Ⅲ—仏教論争与仏教發展—』所収, 2014.3, pp. 71-88）
- 123) *Saddharma and the One Buddha Vehicle in the Lotus Sūtra*, *The Journal of Oriental Studies* 22, 2012.8, pp. 102-111.
- 124) 中国法華経疏の研究与今後的課題（中国人民大学佛教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2011 [宗教文化出版社, 2012.9] pp. 23-39）
- 125) 『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第二積名」の分析（『印度学仏教学研究』61-1, 2012.12, pp. 471-464L）
- 126) 慧思の忍辱思想—以《法華経安楽行義》為中心—（中国人民大学佛教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2012 [宗教文化出版社, 2013.1] pp. 23-39 / 方立天・末木文美士主編、張風雷・菅野博史副主編『東亜仏教研究Ⅳ—仏制度与实践—』所収, 2014.3, pp. 30-50）

(22) 創価大学人文論集 第35号

- 127) 中国の人間仏教と日蓮の「入世」の思想—浄土教との比較を含めて(東洋哲学研究所編『地球文明と宗教—東洋哲学研究所創立50周年記念論文集』所収, 2013.3, pp. 43-60L)
- 128) 『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第二積名」について(『創価大学人文論集』25, 2013.3, pp. 51-69)
- 129) 『法華経』の中国的展開(『シリーズ 大乘仏教5・智慧/世界/ことば』所収, 2013.5, 春秋社, pp. 305-329)
- 130) 道生《妙法蓮花経疏》中“理”的概念(李四龍主編《樓宇烈先生八秩頌寿文集》所収, 2013.10, 九州出版社, pp. 287-301)
- 131) 『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析(『印度学仏教学研究』62-1, 2013.12, pp. 480-472L)
- 132) 积尊の中心思想与《法華経》的特色(『佛學研究』総22期, 北京, 2013.12, pp. 222-230)
- 133) 光宅寺法雲の法華経観(『東アジア仏教学術論集』2, 2014.2, pp. 67-89)
- 134) 『大乘四論玄義記』「仏性義」の「第三体相」の分析について(『創価大学人文論集』26, 2014.3, pp. 13-39)
- 135) On the “Four Modes of Interpretation” of the *Fahua wenju* (『奥田聖應先生頌寿記念インド学仏教学論集』所収, 2014.3, 佼成出版社, pp. 827-844)
- 136) 中国仏教初期的機与感応思想—以道生、僧亮為中心—(方立天・末木文美土主編、張風雷・菅野博史副主編『東亜仏教研究Ⅱ—仏教的本土化研究—』所収, 2014.3, pp. 38-55)
- 137) 中国の人間仏教与日蓮の“入世”思想—兼論与浄土思想的比較—(方立天・末木文美土主編、張風雷・菅野博史副主編『東亜仏教研究Ⅴ—仏教与現代性—』所収, 2014.3, pp. 79-98)
- 138) 光宅寺法雲の《法華経》観(張風雷・金天鶴・竹村牧男主編『中国南北朝仏教研究』所収, 宗教文化出版社, 2014.5, pp. 78-101)
- 139) 中国における法華思想の展開(『法華経と日蓮』[シリーズ日蓮第一巻])

- 所収, 2014.5, 春秋社, pp. 123-146)
- 140) 杏雨書屋所蔵『釋肇序抄義』翻刻 (『東アジア仏教研究』12, 2014.5, pp. 131-145)
- 141) 杏雨書屋所蔵『釋肇序抄義』の研究 (『印度学仏教学研究』63-1, 2014.12, pp. 73-81L)
- 142) 富永仲基と平田篤胤の仏教批判 (『国際哲学研究』別冊6 [東洋大学国際哲学研究センター編], 2015.3, pp. 29-43)
- 143) Fayun's View of the *Lotus Sūtra* (『創価大学国際仏教学高等研究所年報』18, 2015.3, pp. 321-336)
- 144) 吉藏の三種法輪説 (『佛教文化研究』第一輯, 江蘇人民出版社, 2015.4, pp. 43-66)
- 145) 《法華經》思想在中国和日本的伝播 (『人文宗教研究』総第6輯・2015年第2冊, 宗教文化出版社, 2015.12, pp. 41-57)
- 146) On the Authenticity of Shōtoku Taishi's *Sangyō-gishi* (『三友健容博士古稀記念論文集 智慧のともしび——アビダルマ仏教の展開』, 山喜房仏書林, 2016.3, pp. 935-980)
- 147) 白鶴美術館所蔵『大般涅槃經集解』写本について——巻第1-3、18-20の校勘 (孫茂霞と共著, 『東アジア仏教研究』14, 2016.5, pp. 85-95)
- 148) 東晉、南北朝佛教與實踐——初期佛教受容の具體様態 (『佛教的東傳與中國化』所収, 法鼓文化, 2016年8月, pp. 128-173, 392-394)
- 149) 吉藏の涅槃經観——『涅槃經遊意』を中心として (『印度学仏教学研究』65-1, 2016.12, pp. 76-84L)
- 150) 吉藏对《法華經》和《華嚴經》的比較研究 (中国人民大学仏教与宗教学理論研究所編『宗教研究』2015秋 [宗教文化出版社, 2016.1] pp. 25-40)
- 151) The Reception of *Lotus Sūtra* Thought in China, *The Journal of Oriental Studies* 27, 2017.8, pp. 136-150.
- 152) L'accueil réservé par la Chine au *Sūtra* du *Lotus*, in *Le Sūtra du Lotus: Diffusion et réception d'un enseignement majeur du bouddhisme*,

Les Indes savantes: Paris, 2017, pp. 81-96.

- 153) 吉藏『大品経玄意』の研究 (『印度学仏教学研究』66-1, 2017.12, pp. 149-155L)
- 154) 慧思《法華経安楽行義》中の法華経観 (『楊曾文先生八秩寿慶文集』[宗教文化社, 2018.9, pp. 510-521])
- 155) 初期中国佛教判教思想的展開 (『佛学研究』2018年第二期, 2019.2.25, pp. 178-188)
- 156) 关于中国天台宗的《观音经》的注释 (『敦煌研究』2019-2期 [総第174期], 2019.5, pp. 1-8)
- 157) 中国天台における『観音経』(『法華経』観世音菩薩普門品)の注釈について (『東洋学術研究』58-1, 2019.5, pp. 36-52)
- 158) The Chinese Tiantai Commentaries on the *Avalokiteśvara Sūtra*, *The Journal of Oriental Studies* 29, 2019. 8, pp. 35-54.
- 159) 『大乘四論玄義記』における『涅槃経』の引用について (『印度学仏教学研究』68-1, 2019.12, pp. 289-281L)
- 160) 天台智顛の死について—中国の学者の解釈を中心として— (『花野充道博士古稀記念論文集 仏教思想の展開』所収, 山喜房仏書林, 2020.10, pp. 429-448)
- 161) 天台智顛における『法華経』と『涅槃経』の関係——吉藏との比較を含んで (『印度学仏教学研究』69-1, 2020.12, pp. 1-11)
- 162) 中国天台宗における涅槃経観を示す諸概念について——「追説」、「追浪」、「拈捨教」、「扶律談常」 (『印度学仏教学研究』70-1, 2021.12, pp. 337-330 [L])
- 163) 近年の日本・中国の佛教學の交流について (『東方』143, 2022.1, pp. 78-95)
- 164) Zhiyi's 智顛 (539-598) View on the Relationship between the *Lotus Sūtra* and the *Nirvāṇa Sūtra*: A Comparison with the View of Jizang 吉藏 (549-623) (*Chinese Transformation of Buddhism & Crossbor-*

der Transmission of Buddhism: Pan-Asian Spread of Tiantai/ Ch'ont'ae/ Tendai Texts, Ideas and Practices and Its Position in East Asian Society, pp. 457-494, 2022.4)

- 165) 日蓮仏法の思想的根拠——法華経(東洋哲学研究所編『日蓮の心』所収, 第三文明社, 2022.11, pp. 54-81)
- 166) 『大般涅槃経集解』における空と有の問題(『印度学仏教学研究』71-1, 2022.12, pp. 337-330 [L])
- 167) 『大般涅槃経集解』巻第一～三十までの校勘(張文良・賈学霄との共著, 『創価大学人文論集』35, 2023.3, pp. 55-63)

[Ⅲ] 翻訳・訳注研究

- 01) 阿含経現代語訳4・種徳経(『アーガマ』50, 1984.8, pp. 64-83)
- 02) 阿含経現代語訳9・三明経(『アーガマ』55, 1985.1, pp. 84-101)
- 03) 阿含経現代語訳15・散陀那経(『アーガマ』61, 1985.8, pp. 61-76)
- 04) 『摩訶止観』正修止観章訳注(1)(『東洋哲学研究所紀要』1, 1985.12, pp. 97-113)
- 05) 阿含経現代語訳23・究羅檀頭経(『アーガマ』69, 1986.6, pp. 29-59)
- 06) 阿含経現代語訳26・布吒婆楼経(『アーガマ』73, 1986.10, pp. 32-51)
- 07) 『摩訶止観』正修止観章訳注(2)(『東洋哲学研究所紀要』2, 1986.12, pp. 45-60)
- 08) 阿含経現代語訳36・遊行経④(『アーガマ』83, 1987.8, pp. 28-55)
- 09) 『摩訶止観』正修止観章訳注(3)(『東洋哲学研究所紀要』3, 1987.12, pp. 89-109)
- 10) 阿含経現代語訳44・大本経②(『アーガマ』90, 1988.3, pp. 137-165)
- 11) 阿含経現代語訳51・世記経三災品(『アーガマ』97, 1988.11, pp. 57-62, pp. 69-71 を分担)
- 12) 『摩訶止観』正修止観章訳注(4)(『東洋哲学研究所紀要』4, 1988.12, pp. 69-88)

- 13) 阿含経現代語訳・長阿含経序(『アーガマ』100, 1989.2, pp. 183-184の下段9行と pp. 185-187の注1から19までを分担)
- 14) 『摩訶止観』正修正観章訳注(5)(『東洋哲学研究所紀要』6, 1990.12, pp. 40-58)
- 15) 『法句譬喻経』訳注(4)(『アーガマ』125, 1993.1, pp. 169-186)
- 16) 『法句譬喻経』訳注(5)(『アーガマ』126, 1993.4, pp. 197-209)
- 17) 『法句譬喻経』訳注(10)(『アーガマ』131, 1994.7, pp. 163-183)
- 18) 『法句譬喻経』訳注(14)(『アーガマ』135, 1995.7, pp. 291-302)
- 19) 許抗生「南朝仏教における中印仏教の同異について—宋齊時代の仏道両教の夷夏の弁の分析—」(『中外日報』1995.11.30, 12.2)
- 20) 『維摩経玄疏』訳注(一)(『大倉山論集』40, 1996.12, pp. 235-261)
- 21) 『法句譬喻経』訳注(20)(『アーガマ』141, 1997.3, pp. 197-212)
- 22) 『法句譬喻経』訳注(24)(『アーガマ』144, 1997.12, pp. 233-242)
- 23) 『維摩経玄疏』訳注(二)(『大倉山論集』45, 1999.3, pp. 297-316)
- 24) 呉雲貴「発展する世界宗教研究所」(『東洋学術研究』38-2, 1999.11, pp. 6-14)
- 25) 楊曾文「中国の歴史における『法華経』と21世紀の意義」(『東洋学術研究』38-2, 1999.11, pp. 23-36)
- 26) 何勁松「池田大作SGI会長と『法華経』」(『東洋学術研究』38-2, 1999.11, pp. 52-63)
- 27) 潘桂明「太虚の〈人間仏教〉から新世紀の中国仏教を展望する」(『中外日報』1999.11.30)
- 28) 尢蔵加「新中国のチベット仏教研究—回顧と展望—」(『中外日報』1999.12.14)
- 29) 何勁松「中国仏教はどのような道を歩むべきか—居士仏教に関する考察」(『創価大学人文論集』12, 2000.3, pp. 237-254)
- 30) 方広錫「『羽田亨目録』中の敦煌遺書」(『中外日報』2001.1.30)
- 31) 魏道儒「華嚴宗の円融思想とその実践的価値」(『中外日報』2001.11.8)

- 32) 杜継文「平和、生態系と大乘の精神」(『東洋学術研究』40-2, 2001.12, pp. 52-58)
- 33) 魏道儒「華嚴宗の性起学説」(『東洋学術研究』40-2, 2001.12, pp. 59-69)
- 34) 張総「観音、地蔵の大乘菩薩の精神と現代社会」(『東洋学術研究』40-2, 2001.12, pp. 88-106)
- 35) 何勁松「書道と人生を語る」(何勁松『書道人生』, 人民美術出版社, 2002.7, pp. 6-8)
- 36) 任継愈「現代文明と宗教対話」(『東洋学術研究』44-1, 2005.7, pp. 86-94)
- 37) 卓新平「現代社会における宗教対話の苦境と希望」(『東洋学術研究』44-1, 2005.7, pp. 95-111)
- 38) 魏道儒「宗教対話に有益な仏教の伝統的資源」(『東洋学術研究』44-1, 2005.7, pp. 112-124)
- 39) 魏常海「現代の中日仏教における世間の重視」(『東洋学術研究』44-2, 2005.12, pp. 97-115)
- 40) 陳継東「近代中日仏教徒の対話——楊文会と南条文雄の交流」(『東洋学術研究』46-1, 2007.5, pp. 104-117)
- 41) 姚治華「莊子『蝴蝶の夢』の深層分析」(『東洋学術研究』46-1, 2007.5, pp. 126-144)
- 42) 黄耀堃「法理と屈服——韓愈『論仏骨表』と儒・仏の対話」(『東洋学術研究』46-1, 2007.5, pp. 145-162)
- 43) 楊曾文「中日友好と仏教学者の貢献」(『東洋学術研究』49-1, 2010.5, pp. 67-80)
- 44) 魏道儒「中国仏教と現代社会——太虚・印順を中心として紹介」(『東洋学術研究』49-1, 2010.5, pp. 81-93)
- 45) Max Deeg「西洋における『法華経』の物語——学問的対象から宗教のテキストへ」(『東洋学術研究』51-1, 2012.5, pp. 317-343)
- 46) 『維摩経玄疏』訳注(三)(『多田孝文名誉教授古稀記念論文集 東洋の慈悲と智慧』所収, pp. 33-54, 山喜房仏書林, 2013.3)

- 47) 張風雷「菅野博史氏のコメントに対する回答」(『東アジア仏教学術論集』3, 2015.2, pp. 67-71)
- 48) 『大乘四論玄義記』「仏性義」大意・釈名・体相の訳注研究(『創価大学人文論集』27, 2015.3, pp. 33-72)
- 49) 『維摩經玄疏』訳注(4)(『創価大学人文論集』29, 2017.3, pp. 33-72)
- 50) 『維摩經玄疏』訳注(5)(『創価大学人文論集』30, 2018.3, pp. 61-84)
- 51) 『維摩經玄疏』訳注(6)(『創価大学人文論集』31, 2019.3, pp. 151-184)
- 52) 張元林「莫高窟第285窟を『法華經』の角度から解説する」(『東洋学術研究』58-1, 2019.5, pp. 9-35)
- 53) 『維摩經玄疏』訳注(7)(『創価大学人文論集』32, 2020.3, pp. 49-71)
- 54) 『維摩經玄疏』訳注(8)(『創価大学人文論集』33, 2021.3, pp. 55-87)
- 55) 『維摩經玄疏』訳注(9)(『創価大学人文論集』34, 2022.3, pp. 51-83)
- 56) 『維摩經玄疏』訳注(10)(『創価大学人文論集』35, 2023.3, pp. 129-180)

[IV] 書評

- 01) 末木文美士『仏教一言葉の思想史—』(『宗教研究』312, 1997.6, pp. 266-271)
- 02) 高野淳一『中国中観思想論—吉藏における「空」—』(『集刊 東洋学』108, 2013.1, pp. 1-33)
- 03) 池田魯参『摩訶止観を読む』(東京新聞, 2017.7.17)
- 04) 李子捷『「究竟一乘宝性論」と東アジア仏教—五—七世紀の如来藏・真如・種姓説の研究』(『中外日報』, 2020.4.24)
- 05) 書評(中文版)・高野淳一『中国中観思想論』(劉成有主編『東亜仏学評論』第二輯, 國際文化出版公司, 2018.8, pp. 231-245)(史経鵬訳)

[V] 辞典

- 01) 「機根」「現観」の2項目(『仏教・インド思想辞典』, 1987.4, 春秋社)
- 02) 「衣鉢」「頓教・漸教」など60項目(『岩波仏教辞典』, 1989.12, 岩波書店)

- 03) 仏教用語の校閲と新規項目の執筆（『広辞苑』第四版, 1991.11, 岩波書店）
- 04) 編集と新規項目の執筆（大倉精神文化研究所編『日本思想史文献解題』, 1992.3, 角川書店）
- 05) 『法華経』・『法華玄義』・『摩訶止観』・一念三千・止観・吉蔵（『岩波哲学思想辞典』, 1998.3, 岩波書店）
- 06) 四摂と三愛・仁と慈悲・博愛・仏教の心（『比較思想辞典』, 2000.8, 東京書籍）
- 07) 『法華経』（『政治学事典』, 2000.11, 弘文堂）
- 08) 『法華義疏』（『日本仏教の文献ガイド』, 2001.12, 法蔵館）
- 09) 編集協力と新規項目の執筆（『岩波仏教辞典』改訂版, 2002.10, 岩波書店）
- 10) 中国天台宗（『世界宗教百科事典』, 2012.12, 丸善書店, pp. 68-69）
- 11) 『法華経』・観音菩薩・竺法護・慧観（『中国文化史大事典』, 2013.4, 大修館書店）
- 12) 智顛・吉蔵など中国仏教関連人物30項目の執筆（『世界人名大辞典』, 岩波書店, 2013.12）
- 13) 「中国仏教一教えの展開一」（『仏教の事典』所収, 2014.4, pp. 226-236, 朝倉書店）
- 14) Sutra Commentaries in Chinese until the Tang Period (Brill's Encyclopedia of Buddhism. Volume One: Literature and Languages, 2015, pp. 450-466, with Rafal Felbur)
- 15) 「法華経信仰」（『日本思想史辞典』所収, 2020.5, 丸善出版）
- 16) 法華玄義、摩訶止観、涅槃玄義（以上、玉城康四郎との共同執筆）、三論玄義（早島鏡正との共同執筆）、中観論疏（泰本融との共同執筆）、大乘玄論、天台四教儀（塩入良道との共同執筆）、出定後語（田村芳朗との共同執筆）（『仏典解題辞典 第三版』所収, 春秋社, 2020.12）
- 17) 「南北朝仏教」（『仏教事典』所収, 2021.1, 丸善出版）

[VI] 共同研究

- 01) 摩訶止観引用典拠総覧1-10 (『天台』2-11, 1981-6, 2. pp. 69-83;3. pp. 84-90;4. pp. 85-90;5. pp. 73-87;6. pp. 91-95;7. pp. 73-85;8. pp. 84-89;9. pp. 86-93;10. pp. 83-91;11. pp. 63-72)
- 02) 『天地神祇審鎮要記』訳注(1) (『大倉山論集』25, 1989.3, pp. 183-209)
- 03) 『天地神祇審鎮要記』訳注(2) (『大倉山論集』27, 1990.3, pp. 323-345)
- 04) 『南岳思大禪師立誓願文』訳解 (『多田厚隆先生頌寿記念・天台教学の研究』所収, 1990.3, 山喜房仏書林, pp. 449-486)
- 05) 『天地神祇審鎮要記』訳注(4) (『大倉山論集』31, 1992.3, pp. 207-225)
- 06) 『天地神祇審鎮要記』訳注(5) (『大倉山論集』33, 1993.3, pp. 169-186)
- 07) 『天地神祇審鎮要記』訳注(6) (『大倉山論集』35, 1994.3, pp. 143-156)
- 08) 『天地神祇審鎮要記』訳注(7) (『大倉山論集』37, 1995.3, pp. 283-296)
- 09) 『天地神祇審鎮要記』訳注(8) (『大倉山論集』39, 1996.3, pp. 135-154)
- 10) 『天地神祇審鎮要記』訳注(9) (『大倉山論集』41, 1997.3, pp. 193-206)
- 11) 『天地神祇審鎮要記』訳注(10) (『大倉山論集』42, 1998.3, pp. 239-258)
- 12) 『天地神祇審鎮要記』訳注(11) (『大倉山論集』43, 1999.3, pp. 475-494)
- 13) 『天地神祇審鎮要記』訳注(12) (『大倉山論集』45, 2000.3, pp. 323-336)
- 14) 『天地神祇審鎮要記』訳注(13) (『大倉山論集』47, 2001.3, pp. 245-262)
- 15) 年表(隋唐)(柳幹康と共著, 『新アジア仏教史07 中国Ⅱ 隋唐 興隆・発展する仏教』pp. 466-477, 佼成出版社, 2010.6)
- 16) 年表(宋元明清)(柳幹康と共著, 『新アジア仏教史08 中国Ⅲ 宋元明清 中国文化としての仏教』pp. 370-387, 佼成出版社, 2010.9)
- 17) 年表(漢～南北朝)(柳幹康と共著, 『新アジア仏教史06 中国Ⅰ 南北朝 仏教の東伝と受容』pp. 366-375, 佼成出版社, 2010.12)

[VII] その他

- 01) 中国からインドへの旅行記 (『思想の動き』18, 1985.5, p. 4)
- 02) 知識は友人 (『まーるが』39, 1986.6, pp. 7-8)

- 03) 第二回日中仏教学術会議に参加して（『大倉山論集』23, 1988.3, pp. 239-242）
- 04) 中国仏教と老荘思想（『活捉瞿曇』所収, 1988.11, 黙仙寺, pp. 99-103）
- 05) 仏教思想の普遍性（中村元氏へのインタビュー 『東洋学術研究』28-1, 1989.2, pp. 4-33）
- 06) 中国古代における愛の思想—仁と兼愛—（『愛憎超越』所収, 1989.8, 興徳寺, pp. 93-97）
- 07) 議論止まず（『生と思索—刈田喜一郎先生退職記念論集—』所収, 1990.5, pp. 120-122）
- 08) 講座仏教7・中国仏教入門（『在家仏教』7, 1990.7, pp. 82-86）
- 09) 天台大師智顛と『摩訶止観』（『創価大学人文論集別冊・フォーラム人文』1, 1990.7, pp. 79-89）
- 10) 長者窮子の譬喩と中国の教判思想（上）・（下）（『中外日報』1990.10.19, 10.22）
- 11) 吉蔵の長者窮子の譬喩解釈と『華嚴経』（『中外日報』1990.11.1）
- 12) 六朝知識人（戴逵）における仏教受容の一断面—中国における運命の問題—（大倉精神文化研究所編『月例講話集』3所収, 1990.12, pp. 1-19）
- 13) 東アジアの文化の種々相と仏教（上田正明氏と木村清孝氏の対談の司会 『東洋学術研究』29-4, 1990.12, pp. 4-33）
- 14) 著者インタビュー（『一念三千とは何か』）（『中外日報』1992.7.28）
- 15) 「十界」の思想史（『第三文明』378所収, 1992.10, pp. 35-41）
- 16) 出定後語—近世における仏教の思想史的研究—（大倉精神文化研究所編『月例講話集』7所収, 1992.11, pp. 67-95）
- 17) 著者インタビュー（『法華経——永遠の菩薩道』）（『中外日報』1993.3.30）
- 18) 平田篤胤と仏教（『大倉山夏季公開講座Ⅱ』所収, 1993.8, pp. 7-31）
- 19) 『法華経』の哲学（1）～（38）（『第三文明』393-402, 406-433に連載, 1994.1-1994.10, 1995.2-1997.5）
- 20) 著者インタビュー（『中国法華思想の研究』）（『中外日報』1994.8.18）

- 21) 『法華経』——仏乗の思想と常不軽菩薩の礼拝行——(大倉精神文化研究所編『月例講話集』10所収, 1994.3, pp. 1-23)
- 22) 『法華経』における声聞授記の意義に関する随想(『早島鏡正著作集』月報11, 1995.2, 世界聖典刊行協会, pp. 5-8)
- 23) 鳩摩羅什—中国仏教を育てた翻訳僧—(大倉精神文化研究所編『月例講話集』12所収, 1995.3, pp. 63-91)
- 24) 訳注者インタビュー(『法華義記』)(『中外日報』1996.9.21)
- 25) 法—ゴータマ・ブツダの正法と『法華経』の妙法—(『在家仏教』10, 1996.10, pp. 38-40)
- 26) 中国仏教の大成者—天台大師智顛—(大倉精神文化研究所編『月例講話集』17所収, 1997.10, pp. 145-178)
- 27) 観音の救い(大倉精神文化研究所編『大倉山講演集』VI所収, 1998.3, pp. 133-146)
- 28) 如来の使—一日蓮—(大倉精神文化研究所編『心のまんだら・月例講話集』19所収, 1999.7, pp. 189-222)
- 29) 訳者インタビュー(『法華統略』下)(『中外日報』2000.3.23)
- 30) 第八回日中仏教学術会議に参加して(『大倉山論集』45, 2000.3, pp. 337-346)
- 31) 早島鏡正先生を偲ぶ(『大倉山論集』46, 2001.9, pp. 510-515 [R])
- 32) 我れ深く汝等を敬う(大倉精神文化研究所編『月例講話集』21所収, 2001.7, pp. 211-239)
- 33) インタビュー 話題の新書『法華経入門』の著者・菅野博史さんに聞く(『第三文明』504, 2001.12)
- 34) 誓願に生きる菩薩たち(『中外日報』2002.1.3)
- 35) 任継愈と中華大藏経(BUTSUGEN, 23, 2002.11.15)
- 36) 創価大学国際仏教学高等研究所の歩み(『聖教新聞』2003.1.19)
- 37) 日中仏教学術会議に参加して(『中外日報』2003.12.9)
- 38) 私の原点の書——『法華経』(『中外日報』2004.1.27)

- 39) 第二回中日仏学会議に参加して（『中外日報』2006.11.14）
- 40) 第三回中日仏学会議に参加して（『中外日報』2008.11.8）
- 41) インタビュー 『法華経』が説く宗教間対話のビジョン（『第三文明』598, 2009.10）
- 42) 「中日韓天台宗学術対話国際研討会」報告（『中外日報』2009.12.12）
- 43) 「『大宝守脱和尚関係資料集』を推薦する」（『智証大師生誕1200年記念 天台寺門宗教文化資料集 教学編 大宝守脱関係資料群 第Ⅰ期』, 2009.12, pp. 22-23）
- 44) 第60回学術大会パネル発表報告・『大乘四論玄義記』とその周辺（『印度学仏教学研究』58-2, 2010.3, pp. 859-858 [L]）
- 45) 「慧均『大乘四論玄義記』に基づく中国南朝仏教学の再構築（研究課題番号 19520055）平成19年度～21年度科学研究費補助金[基盤研究(C)]研究成果報告書」, 2010.4, x+119 pages.
- 46) 聖徳太子奉賛会の思い出（増山太郎編著『聖徳太子奉讃会史』[永青文庫, 2010.10.]）
- 47) 第四回中日仏学会議に参加して（『中外日報』2010.10.28）
- 48) 日本仏教の源流をたどる——インド・中国仏教を形成した人物（『別冊太陽182 名僧でたどる日本の仏教』pp. 7-13, 平凡社, 2011.5）
- 49) 法華経研究の最前線（鼎談, 『福神』, pp. 46-73, 2011.5）
- 50) 設立十年を迎える東アジア仏教研究会（『中外日報』2011.6.11）
- 51) 方立天教授在職50周年学術研討会に参加して（『中外日報』2011.9.29）
- 52) 第一回韓・中・日国際仏教学術大会に参加して（『中外日報』2012.7.5）
- 53) インド・中国仏教を形成した人たち（末木文美士編『日本をつくった名僧一〇〇人』[平凡社, 2012.9] pp. 13-21）
- 54) 私の中国との学術交流（『学光』第37巻第8号通号第440号, 2012.11, pp. 11-13）
- 55) Tominaga Nakamoto's Theory of Supersession in the *Shutsujōgogo* and Its Influence, TRANSACTIONS OF THE INTERNATIONAL

CONFERENCE OF EASTERN STUDIES, No. LVII 2012, 2013.1, pp. 120-121)

- 56) 「《法華經》的中心思想」(上) (台湾「和楽新聞」2013.3.8)
- 57) 「《法華經》的中心思想」(下) (台湾「和楽新聞」2013.3.12)
- 58) 「『法華經』の中心思想」(『東洋学術研究』52-1, 2013.5, pp. 291-299)
- 59) 鼎談「日蓮思想の現代的意義」(末木文美士氏・佐古弘文氏との鼎談, 『中外日報』2013.11.21)
- 60) 「『法華玄義』の思想的特色」(『法華仏教研究』17, 2013.12, pp. 40-72)
- 61) 第3回日・韓・中国際仏教学術大会 (『中外日報』2014.7.23)
- 62) 張風雷氏の発表論文(「但中」と「円中」—天台智者大師の中道思想—) に対するコメント (『東アジア仏教学術論集』3, 2015.2, pp. 64-66)
- 63) 岩松教授のご退職に際して (『創価大学人文論集』27, 2015.3, pp. 1-3)
- 64) 追思方立天先生 (中国人民大学仏教与宗教学理論研究所編『此情哪堪成追憶——方立天先生逝世周年紀年文集』[宗教文化出版社, 2015.7], pp. 18-20)
- 65) 「シンポジウム・法華經の平等思想と優劣思想」(参加者:小松邦彰・末木文美士・菅野博史・三輪是法・花野充道, 『法華仏教研究』21, 2015.10, pp. 174-193)
- 66) 「第六回中日仏学会議に参加して」(『中外日報』2015.12.16)
- 67) 石吉岩氏の発表論文(『起信論』と『起信論』注釈書の阿黎耶識観) に対するコメント (『東アジア仏教学術論集』4, 2016.2, pp. 57-59)
- 68) 日本宗教学会第74回学術大会「パネル・東アジア仏教と『法華經』—中国における『法華經』の思想の受容—」(『宗教研究』89, 2016.3, pp. 85-86)
- 69) 日本宗教学会第74回学術大会「パネル・東アジア仏教と『法華經』—パネルの主旨とまとめ—」(『宗教研究』89, 2016.3, pp. 91-92)
- 70) A. Charles Muller 氏の発表論文 (“The Emergence of Essence-Function (*ti-yong*) 體用 Hermeneutics in the Sinification of Indic Buddhism:

- An Overview”）に対するコメント（『東アジア仏教学術論集』5, 2017.1, pp. 190-194)
- 71) 关于《大般涅槃经集解》的写本（《普觉》特刊《第七届中日佛学会会议筹备会议暨福山台嶺寺的发展与东亚佛教的未来学术座谈会》，2017.11, pp. 37-43)
 - 72) 「第七回中日仏学会議に参加して」（『中外日報』2018.1.17)
 - 73) 齋藤智寛の発表論文（禅問答の誕生と公案禅・看話禅への展開）に対するコメント（『東アジア仏教学術論集』6, 2018. 2, pp. 192-195)
 - 74) 「『東哲叢書——仏典現代語訳シリーズ』（東洋哲学研究所）刊行に寄せて」（『図書新聞』3384号, 2019.1.26)
 - 75) 「『東哲叢書——仏典現代語訳シリーズ I』訳注担当菅野博史副所長に聞く」（『聖教新聞』2019.2.2)
 - 76) 楊玉飛の発表論文（照法師撰『勝鬘經疏』（S.524）について）に対するコメント（『東アジア仏教学術論集』7, 2019. 1, pp. 266-268)
 - 77) 对齋藤智寛論文的評議（『東亜禅学思想及其意義』所収, 2019.4, 宗教文化出版社, pp. 190-193)
 - 78) 新刊紹介「東哲叢書 仏典現代語訳シリーズ」（『東洋学術研究』58-1, 2019.5, pp. 277-279)
 - 79) 「第八回中日仏学会議に参加して」（『中外日報』2019.11.27)
 - 80) 我的佛教研究（『靈山海会』44, 2019.12, pp. 72-75)
 - 81) 蓑輪顕量氏の発表論文（日本撰述の偽経について）に対するコメント（『東アジア仏教学術論集』8, 2020.2, pp. 65-68)
 - 82) 私の一冊（『中外日報』2020.9.18)
 - 83) The 71st Japanese Association of Indian and Buddhist Studies Conference (MAHĀPIṬAKA Newsletter New Series No. 26, 2021.1, pp. 2-3)
 - 84) 法華コモンズとのご縁と私の天台三大部の研究（『法華コモンズ通信』6, 2021.2, pp. 1-2)
 - 85) 李承南氏の発表論文「『法華経』の安楽行としての戒行の研究」に対する

(36) 創価大学人文論集 第 35 号

コメント (『東アジア仏教学術論集』9, 2021.2, pp. 401-404)

- 86) 中国仏教の歴史～仏教伝来から現代まで～ (『浅草寺 佛教文化講座』65, 2021.8, pp. 47-72。「中国仏教の歴史～仏教伝来から現代まで～①」として『浅草寺4月』に再録, 2022.4, pp. 56-69)
- 87) 羽矢辰夫教授のご退職に際して (『創価大学人文論集』34, 2022.3, pp. 1-3)
- 88) 菅野博史先生の経歴と業績 (『創価大学人文論集』35, 2023.3, pp. 5-36)